生活のきまり（生活心得）

１ 学校生活において大切にしたいこと

○ 命あることに感謝し，よりよく生きることを大切にしましょう。
○ 認め合い高めあうことを通して，共感的な人間関係を育みましょう。
○ 自覚と責任を意識し，自主･自立の精神を身につけ，自分たちで考え正しく判断できるようになりましょう。
○ 住み心地のよい環境を維持することに努め，そんな環境の中で自己肯定感を育みましょう。

２ 届出，報告

(1) 欠席（病気欠席・忌引きによる欠席・その他の理由の欠席），遅刻や早退などをする場合はアプリ(コドモン)を利用し，８時 15 分までに学校に連絡をしましょう。
(2) 在学証明書，学生割引証などが必要な場合は，学級担任に申し出ましょう。

３ 登下校時刻

(1) 始業時間は８時 25 分とします。８時 20 分に教室の自席に着席できるように心掛けましょう。
(2) ８時 00 分に昇降口を解錠します。それ以前の活動がある場合は担当の先生の指示に従いましょう。
(3) 最終下校時刻は帰りのＳＴ終了 15 分後とします。部活動の最終下校時刻は日没 30 分前を原則とします。

＜最終下校時刻＞

４月上旬～５月中旬	17:30	５月中旬～７月	17:30	９月上旬	17:30
９月中旬	17:30	９月下旬	17:15	１０月上旬	17:00
１０月中旬	16:45	１０月下旬～１１月中旬	16:30	１１月下旬～１２月	16:10
１月上旬	16:15	１月中旬	16:30	１月下旬～２月中旬	16:45
２月下旬	17:00	３月上旬～中旬	17:15	３月下旬	17:30

４ 身だしなみについての約束

(1) 服装
- 学生服やズボン、セーラー服(紺色長袖、白色長袖･半袖)や指定のひだスカート、ブレザーを着用しましょう。
- 学生服やブレザーの下には、白色のポロシャツやカッターシャツを着用しましょう。
- 校内では名札が常に見えるようにしておきましょう。
- 中学生らしい着用方法を心掛けましょう。

(2) 靴
- 通学用の靴は、白を基調としたものにしましょう。
- 上靴や体育館シューズは指定の靴を使用しましょう。
- かかとに記入をしましょう。

(3) 靴下
- 白を基調としたものにしましょう。
- くるぶしが隠れるようにしましょう。

(4) 防寒具
- 防寒具は登下校時に使用しましょう。
- 制服の上から、指定されたハーフコートを着用しましょう。
- ブレザーや冬服の下に着るものとして、セーター・トレーナー・ベスト・カーディガン・インナーダウンなどを考えて着用しましょう。黒や紺、白や灰色の無地で、ワンポイントまで認めます。制服からはみ出さないように着用しましょう。
  ※ セーラー服の上からカーディガンを着ることは認めますが、丈の長さには気を付けましょう。
  ※ 突然の気温の変化で着るものがない時は、冬の体操服を着用しましょう。
- 手袋やマフラー、ネックウォーマーについては、中学生らしさを考えて使用しましょう。
- クッションやひざ掛けは、各自教室で管理して使用しましょう。
- アンダーシャツやパンツ、タイツやスパッツなどは、中学生らしさを考えて使用しましょう。

(5) 帽子
- 屋外において必要であれば、中学生らしい帽子を使用しましょう。

(6) 頭髪
- 中学生らしい髪型で、清潔さを保ちましょう。
- 目や耳にかからない長さを心がけ、かかってしまう場合はピン等でとめましょう。
- 後ろ襟にかかるようであれば、黒・紺・茶など色や大きさが目立たないゴムで結びましょう。
- 染毛、パーマ、整髪料などで、人工的に色や形をつけないようにしましょう。
- 編み込みなど、おしゃれを目的とする髪型は避けましょう。

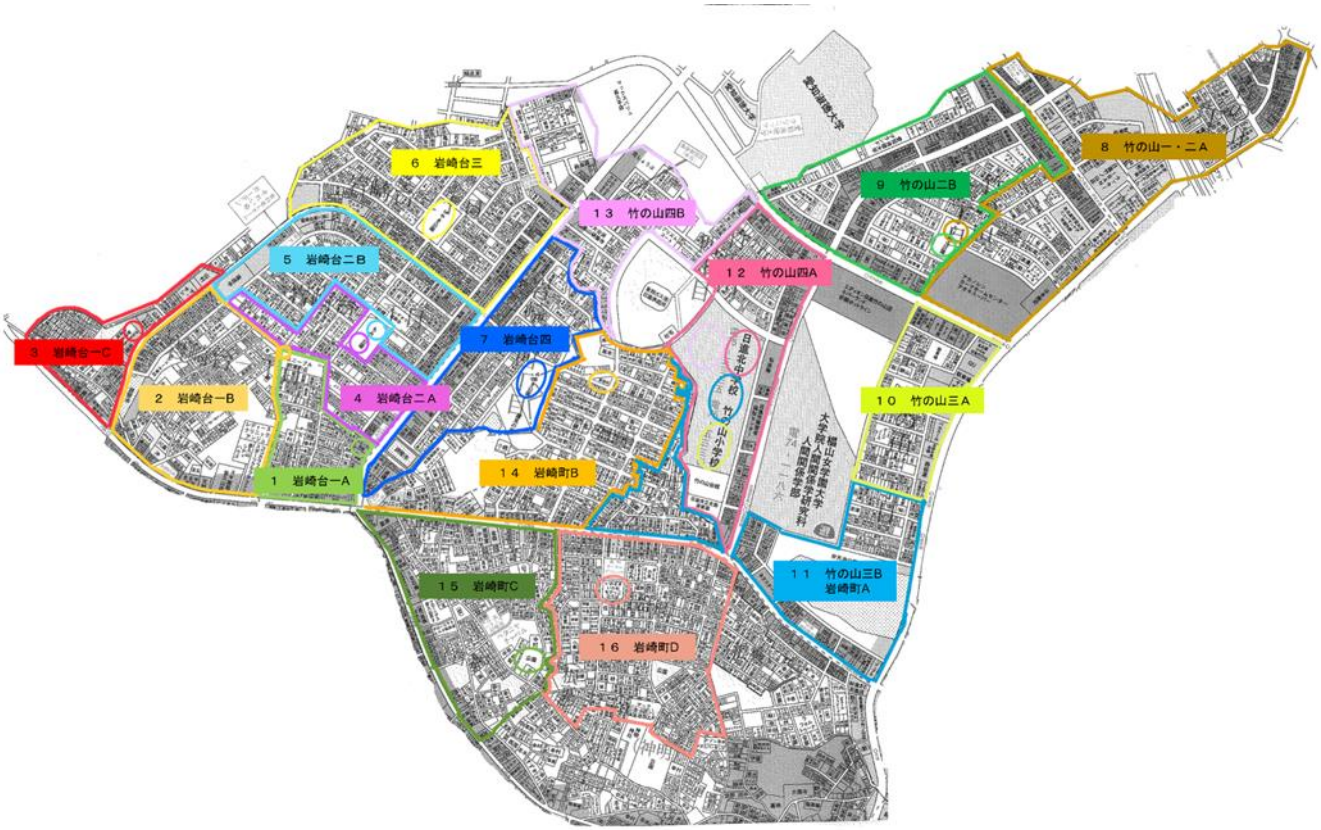
(7) 通学用カバン
- 両肩にかけられるものを使用しましょう。

(8) 名札
- 校内では指定の名札をつけましょう。（学校保管とし登下校時は使用しません）
- 体育の授業時は体操服に所定の名札をつけて参加しましょう。

(9) 体操服
- 学校で指定された，半袖の体操服とハーフパンツ，冬場はジャージを着用しましょう。
- 半袖の体操服と，ジャージの上着には左の胸のところに名札をつけましょう。
- パンツには，内側の白い布地の部分に名前を書いておきましょう。

５ 交通安全

(1) 通学路を守り，駐車場など他人の敷地に入り込むことがないようにしましょう。

(2) 生徒は徒歩通学です。学校教育の一環として自転車の使用を許可する時があります。
① 職場体験学習や体験入学への参加，土日の部活動における遠征などで使用する場合は，ヘルメットを必ずかぶり安全に注意して使用しましょう。
② 自転車は整備点検を確実に行い，改造などしていないものを使用しましょう。
③ 自転車損害賠償責任保険に加入しましょう。

６ 通学路（必ず通学路を通りましょう）